

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

大局を考える 大橋 洋治 (全日本空輸会長)

1. 私は、朝 4 時 15 分までに、ほとんどのことを決断します。昔は寝る前に、今日はどうだった、明日はどうしよう、と考えていました。ところが、夜考えると、どうしても悲観的になってしまいます。ますます眠れなくなります。だから、家に帰ったら、さっと寝ることにしました。朝になって、今日はどういう事があるな、今日はどういう事をしよう、と、前向きに、戦略を練るわけです。
2. もう一つ、心の支えになったのは読書です。備中松山藩の陽明学者、山田方谷は、10 万両の負債があった藩の財政を 8 年で 10 万両の蓄財をなすまでに立て直しました。私はその高潔で一途な生き方に惚れて何冊も読んでいるのですが、「総じて善く天下を制する者は、事の外に立って、事の内に屈せず」と言っています。つまり大局を考えようということです。
3. 2002 年の JAL と JAS の経営統合は、まさに会社の死命を制する出来事でした。当初は、値引き競争でシェアを争ったりもしましたが、方谷の言葉を思い出し、「そうではない。お客様に快適で安全に乗っていただくことが大切だ」と思い至りました。

(参考:「文藝春秋」2007 年 4 月特別号)

経営者のための理念・哲学

善の巡環

1. YKK 創業者吉田忠雄に、「他人の利益を囚らずして、自らの繁栄はない」という自らの事業哲学を一言で表した言葉がある。小学校の頃に読んだ米国の鉄鋼王、アンドリニ・カーネギーの伝記から学び、後の事業家としての思考・行動の規範とした。
2. 事業を始め、それを拡大していくために、第一に必要なものは何か。忠雄は「貯蓄」の必要性を挙げている。まず、自分でお金を貯めて、素晴らしいアイデアの実現のために投じる。そして、付加価値の高い商品を、より安い価格で提供する。こうした事業活動によって人類社会に貢献すれば、その利益は循環し、やがて自分自身のところにも戻ってくる。利己的な利潤追求のアンチテーゼとして、吉田忠雄が最もこだわった考えだ。

(参考:「日経ビジネス」:2007 年 1 月 15 日号)

海外事情

中国の企業・金融機関の資本が膨張

1. 野村證券の調べでは、2006 年 12 月 27 日時点で、中国石油天然気 (ベトロチャイナ) が、時価総額 2510 億ドルと、アジア企業トップで世界では 5 位。トヨタは 2420 億ドルで世界で 6 位。NTT は 780 億ドルで世界 74 位、キャノンは 747 億ドルの 77 位と、大手中国企業の前では見る影もない。もっと深刻なのは金融だ。
2. トムソン・データストリームのデータを基に、日本経済新聞社が集計したところによれば、アジアの金融機関で時価総額が最も大きいのは中国工商銀行。2006 年末の時価総額が 22 兆 3000 億円と、世界の金融機関 4 位である。アジアでそれに次ぐのは、中国建設銀行で、17 兆 3000 億円は世界 6 位。日本勢は、三菱 UFJ が 15 兆円 9000 億円で世界 7 位。みずほフィナンシャルグループが 10 兆円で同 23 位。三井住友フィナンシャルグループが 9 兆 3000 億円で、同 28 位といった具合だ。

(参考:「WEDGE」2007 年 3 月号)

古典に学ぶ

己の本分を避けるな

「凡そ事吾が分の^{およ}已^やむを得ざる者に於いては、当に之を為して避けざるべし」

(訳) 自分の本分として成るべきを避けてはならない。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP 文庫)

